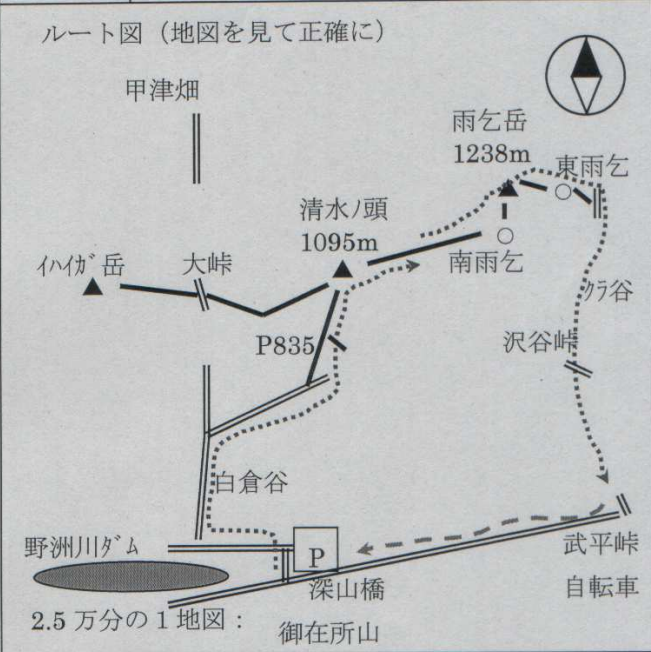


9 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	中山 正夫(記)
		報告日	10/13		
山城	鈴鹿山脈	山行日	15 年 9 月 26 日 (土)		
山名	清水ノ頭・雨乞岳				

山行目的	鈴鹿の雨乞岳のハリエーションルートを楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)	
------	-----------------------	--------------------	--

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集
会担当者



9/26(土)晴れ後曇り
2:55 起床
3:25 自宅発
5:00 武平峠自転車置き
5:25 深山橋駐車
5:30 深山橋発
6:35~:45 南枝尾根取付
7:25~:35 P835 枝尾根
8:15~:20 南尾根主稜
9:00~:25 清水ノ頭(*1)
9:55~10:05 南雨乞
10:25~:50 雨乞岳頂上
11:00 東雨乞通過
11:45~:55 刈谷分岐
12:40~:45 刈谷峠
13:40 武平峠着
13:45 自転車にて発
14:05 深山橋着
16:30 自宅着

*1: 読みはショウブノカサ、基本的に大峠から登山道なしで獣道または薄い踏み後があるのみ。
*2: スキヤクなど一部の科の植物をかと呼び、山中で広範囲に茂る場所を「か」と呼ぶ。

清水ノ頭

〈山行報告〉9/26(土)3:25 車に自転車を積み込み、自宅発。豊明 IC-伊勢湾岸道-四日市 IC-武平峠西側駐車場 5:00 着。自転車を置き深山橋 5:25 駐車する。薄暗い杉林の中の白倉谷林道を 1 時間歩き、清水ノ頭で南尾根の枝尾根の取付き 6:35 着。鹿除け金網沿いに急登し、P835 を目指す。体調悪く、赤松林で、もし松茸を見つけたら即撤退したいと弱腰になる。松茸見つからず、杉林の広い P835 に這い登る。そこからは、か(*2)と低木の原で歩きやすいルートは右に左に捜していく。清水ノ頭 9:00 着。南雨乞のピーク直下までは、丈の低い笹原で、気持ちよく昼寝がしたくなる。細い 15cm 幅の道を快適に登る。南雨乞直下から本峰間は深い笹藪で、昨日の雨露でびしょ濡れになる。ルート見失い、強引に笹の海原を泳ぐ、雨乞岳 10:25 着。頂上から東雨乞間は笹は高いが切り開かれ本来の登山道らしくなる。東雨乞で今日初めて登山者 1 人合う。昔は東雨乞から七人山の丸までは、掘れた溝道で笹が頭を覆い大変苦しかった思い出があるが、今は笹も枯れ旧道(溝掘れ道)の 5m 横にいい新道が出来ている。刈谷沿いを右に左に渡渉して下っていく。刈谷分岐から刈谷峠まで緩やかに登っていく刈谷峠 12:40 着、2 人目の登山者に合う。

ここからは、昔のイメージでは、御在所の山腹を水平にトラバースして武平峠に向かうと思っていたが、枝沢ごとにアップダウンがキツク疲れる。崩壊により道が変化していた、武平峠 13:40 着。すぐに自転車に乗り、車のあ

青く澄み見た目はきれいとリカブト
ガスが晴れ峰まで続くスキ原
ダウンヒル秋風感じ景色飛ぶ
キツイ坂松茸あつたら帰ろうか
登山はじめてもう泣き入り

る深山橋まで、約 10km のダウンヒルだ。ブレーキ少な目でぎりぎりコーナーをせめて快適にかつ飛ばす。最高時速 40km は出し、深山橋 14:05 着。
〈リーダー所見〉ちょうど 1 年前に計画した綿向山・雨乞岳・武平にて、道迷いによる大失敗(イナカ岳・甲津畑に下山 40km 大回り)の後半部再チャレンジで完歩できたので、うれしかった。武平峠からの自転車利用は成功で 2 時間以上の節約になったと思う。モータイクを追い抜きそうな勢いで、とても楽しかった。雨乞・武平間の登山者少なく合計 4 人のみ。

沖仙

確認
(リーダー)
中
15/10/2
山
作成
(報告者)
中
15/10/02
山